令和７年度 雲浜小学校スクールプラン

児 童 数：１６１名
学 級 数：８（うち特別支援学級数２）
教職員数：１５名

学校教育目標
たくましく 心豊かな 雲浜の子

みんなの笑顔 かがやく 雲浜小

●児童の実態
●保護者・地域の願い
●昨年度学校評価で明らかになった課題

【めざす子どもの姿】
ねばり強く 挑戦 / 探究 する子
協働的に問題解決しようとする子
ふるさとのよさを豊かに表現する子

【小浜市学校教育方針】
郷土を愛し、よりよい小浜と日本の未来を創造しようとする児童生徒の育成をめざす。
1 ふるさとを愛し、誇りに思う心を育む
2 よりよい人生を生き、よりよい社会を創っていく資質・能力を育む
3 健康・安全で活力ある生活習慣を育む
4 食への理解を深め、望ましい食習慣を育む
5 全ての児童生徒と教職員が、生き生きと学び働くことのできる学校づくりを進める

重点的に

育てたい資質・能力

協働的な課題解決能力　対話を通して考えをつくる力

非認知能力
自制・自信・共感

きく力
聞く・聴く・訊く・解釈

考えを表現する力

重点課題と取組の具体

最重要課題

【豊かな人間性と健やかな体づくり】

○「子ども主体の児童会活動」の支援
・各行事の目的の明確化
子ども主体会議の時間確保

○自主性・自制心伸長を意図した活動
・マラソン、なわとび、水泳（遠泳）、読書

○デジタルシチズンシップ教育の充実
・年間指導計画の見直し

○道徳教育・人権教育の充実
・いじめ問題、拉致問題を通して

【確かな学び・深い学びの実現】

○「学びプラン」の活用で授業づくり
・単元全体を見通した計画を教員・児童で共有　学びのサイクルを回す学び方の習得

○「振り返り活動」の充実
・学んだこと（学び方も含む）のアウトプット、評価テストの有効活用

○「対話的な学び方」の工夫
・児童の他学年授業参観、教員の互見授業

○「チャレンジタイム」の有効活用
・デジタルドリル活用・発達段階に応じた自己調整

【信頼される学校づくり】

○「ふるさと探究的学習」の地域資源活用の充実（近隣小・中・高校を含む）

○「開かれた学校」体制
・学校公開、適切な情報発信の実施

○「チーム学校」体制の充実
・保護者PTA、家庭地域学校協議会、関係機関との連携充実
・新規不登校児を生まない支援体制
・雲浜小サポーター（ICT,施設環境整備、図書、校外学習等）との連携

研究主題

主体的に問題解決に取り組む子どもの育成　～個別探究とカンファレンスによる深い学びの実現～

評価指標と目標値

・子どもの学校生活満足度90%　【満】
・子ども主体となるように支援したと答える教員90%【満】
・情報活用力モラル関連項目　向上児童90%　【成】
・いじめor拉致を扱う道徳の授業各学年3回/年以上【取】
・自己の目標達成に取り組んだ児童満足度90%　【満】

・学びプランを活用した授業づくりを行った教員90%【取】
・目的を明確にした振り返り活動を行った教員90%　【満】
・ICT活用による対話的な学び方を工夫した教員90%【満】
・（児童）ミライシード活用の満足度80%　【満】
・（教員）チャレンジタイムの有効活用満足度90%　【満】

・系統的なふるさと探究的学習の児童満足度85%　【満】
・学校から保護者等への適切な連絡や情報発信90%　【満】
・学校の相談体制保護者、児童満足度　85%　【満】
・雲浜小サポーターの人数昨年度比110%　【成】

【業務改善2025】～「幸せ」な職場づくり～　**時間外業務月45時間以上勤務者0プロジェクト**　・校務DXの推進　・時差出勤の活用　・年休の取得推進　・日課の見直し　・教職員の対話時間の確保